

2022 年度（2023 年春）イタリア・アグリツーリズモ・ワークショップ

中央大学法学部 教授 工藤 裕子

お問い合わせ、お申込みはメールでお願いします。

ご関心のある方は 9 月中のその旨をご一報下さい。

締切は 11 月末となります。

hirokokd@tamacc.chuo-u.ac.jp

目的

イタリアではなぜ、田舎が元気なのか？

イタリアの小都市はなぜ、（人口は少なくても）限界集落にならないのか？

なぜ若者が中山間地域の小都市で事業を興したり政治に携わったりするのか？

なぜ若者が農業に就くのか？ 人材はいかにして育成できるのか？

地中海式ダイエットの代表格である伝統的なイタリア料理はいつ、どのようにして確立したのか？ その現代的な意味とは？

スローフードとは何か？ キロメートル・ゼロ運動とは？ EU および国内の原産地呼称・地理的表示とは？

中小企業・零細企業ばかりの地場産業がさかんな理由は？ 伝統工芸を支える次世代を育成する方法は？

ウェルビーイングを支える食、スポーツ、生き方とウェルネス産業とは？

持続可能な産業、持続可能な観光は可能か？

アグリツーリズモとは？ アグリツーリズモはなぜコロナに強かったのか？

ポスト・コロナ時代の観光業とは？

これらへの答えを、政治・行政・企業関係者への取材、また体験を通して考えていただきます。

*今回の特徴

1. ファッジオーリ農場(ボルゴ・バジーノ)に7泊7日滞在し、エミリア＝ロマーニャ州内を広く深く視察します。インテンシブな一週間を過ごしていただきます。

2. なかなか海外に行けない時期が続きましたので、訪問先を増やしました。宿泊は伴いませんが、Lazio 州の最北、ダンテの『新曲』でも有名なボルセーナ湖の近くにある Castiglione in Teverina 市を訪れます。元市長の案内で歴史的な中心街のボルゴや欧州最大級のワイン博物館を見学、ワイナリーを訪問します。半日のショート・トリップになりますが、エミリア＝ロマーニャ州以外の雰囲気も体験していただきます。

3. 今年度は表敬訪問よりも体験、見学等を重視しています。また、全体的に時間にゆとり

を持たせ、訪問先の数を絞り、一か所での滞在時間を長めにしました。

4. ロシアのウクライナ侵攻に伴う航路の変更・減少および燃料費の高騰から、航空券が異常に高騰しています。このため、見積合わせ後も代理店には最善の方法を提案し続けていただく予定です。したがって、**現時点での料金は最大値**とご理解下さい。往路を前日深夜便とするなどの変更がある場合があります。この点もご了承下さい。

1. 行程（案）：後述

2. 費用

（旅行代理店振込分と、現地支払分にわかれます。前者は事前振込。**後者は現金支払**です）

- ① 旅行代理店振込分：往復航空券（エコノミークラス）＋空港送迎（専用バス）＋ローマ2泊（2人1部屋、朝食込み）＋ミラノ1泊（2人1部屋、朝食込み）＝約27万円（最大値。航路は調査中。また参加人数によってさらに下がる可能性があります。）
- ② **現地支払分**：カスティリオーネ・イン・テヴェリーナ滞在費（昼食代、飲み物代、入館料、諸経費等）＋ファッジョーリ農場滞在費（7泊7日の宿泊費、3食、飲み物代、入場料・入館料、材料代、手数料、資料代、諸経費等すべて含む）＋貸切バス代（ローマ～ファッジョーリ農場、農場滞在中の移動、ファッジョーリ農場～ミラノ）＝150ユーロ（積算中）＋1900ユーロ＋300ユーロ＝2,350ユーロ

の合計となります。

逆に、期間中に含まれないものとしては、ローマおよびミラノでの昼食代、夕食代、自由散策時の経費、お土産等の購入費などのみです。

それ以外の期間中については3食飲み物すべて込みとなります。

1. 見積もりでは、航空券はエコノミー、ホテルはツインで見積もっております。それ以外のご希望があれば対応可能ですが、予約時に必要になりますので、プレミアム・エコノミーやビジネス、もしくはホテルでシングルのご希望があればご連絡下さい。

2. ファッジョーリ農場滞在中は、アパートメント形式のお部屋（部屋は基本的に2名、アパートメントあたり3～4名の可能性あり）のため、シングルをご希望の場合、農場近くの別のアグリツーリズムにお泊りいただくことが可能です。ご希望があればご連絡下さい。また、全体の人数の関係で、何名か別のアグリツーリズムに泊まってしまうかもしれません（部屋割りの詳細は調整中）。朝食前にお迎えにあがり、朝食から夕食まで是一緒に行動となります。アクティビティから戻って夕食まで時間がある場合等はもちろんいったんお部屋にお戻りいただけるようにしますので、ご安心下さい。

3. 旅行代理店ですが、今年度は JTB にお願いすることになりました。東京以外の出発地の方については国内便との接続、旅程や便の変更等のご相談は直接お願いいたします。また、領収書の発行は、旅行代理店振込分についてのみ可能です。

4. カスティリオーネ・イン・テヴェリーナ滞在費およびファッジョーリ農場滞在経費については、領収書を発行いたしません。ただし、後者については要相談ですが発行は可能です。領収書を必要とされる方は必ず事前に工藤までご相談下さい。上記金額は実質的に付加価値税分を減額してあるため、領収書を必要とされる方については付加価値税をいただくこととなります。なお、ファッジョーリ農場滞在経費については、オーナーのファウスト・ファッジョーリさんのご厚意で学部学生割引があります。学部学生については滞在費が変わりますので、個別にお申し出下さい。

2022 年度(2023 年春)イタリア・アグリツーリズモ・ワークショップ

スケジュール (09.2022 現在。現在、航空券精査中につき、往路行程に若干の変更の可能性あり。出発日は安全かつ合理的な行程、キャリア、料金などを考慮して決定します。23 日の深夜発になる可能性あり。

2月 24 日 (金) 東京国際空港 (羽田 or 成田) 指定カウンター集合。

ローマ着。

空港からホテルまで専用バスで移動。ホテルにチェックイン。ローマ市内泊。(25 日も同一宿泊先)

2月 25 日 (土) 朝食後、自由行動。ローマ市内散策。ローマ市内泊。

2月 26 日 (日) 朝食後、チェックアウト (各自、2 泊分の宿泊税をお支払下さい)。

9:00 貸し切りバス (以降、ミラノのホテルまで同じバスを使用) にて出発。

10:30 カスティリオーネ・イン・テヴェリーナ (Castiglione in Teverina、ラツィオ州ヴィテルボ県、www.comune.castiglioneinteverina.vt.it/) 到着。

Leonardo Zannini 市長ほか市関係者による歓迎。元市長 Francesco Chiucchiurotto による案内でボルゴ (中世からの村落の意。同市の歴史的な中心部で旧市街) および欧州最大規模のワイン博物館 (Il MUVIS “Museo del Vino e delle Scienze Agroalimentari”: <https://muvis.it/>) を見学。その後、同市内のワイナリー (調整中) 訪問。見学とワイン試飲。昼食。

昼食後、エミリア＝ロマーニャ州のファッジョーリ農場 (Fattorie Faggioli) へ。18:00 頃到着。農場の方の出迎え。部屋割り。休憩。

農場にて夕食。夕食後、農場スタッフ、農場でのプログラム、農場内施設の紹介。オーナーより、アグリツーリズム、エコ・フレンドリーでサステイナブルな農場に関する講義。質疑応答。

農場泊 (Fattorie Faggioli、以下 3 月 4 日まで同)。

2 月 27 日 (月) 朝食後、チェルヴィア (Cervia) へ。エトルリア時代から続く塩田で有名な市。皇帝に塩を献上していたことで知られる。「塩の道」の出発点。「塩の博物館」 (Museo del Sale “MUSA”: <http://musa.comunecervia.it/>, www.salinadicervia.it) を見学、元塩田職人からなるボランティア組織のオスカーさんから説明を受ける。同地の塩はスローフード登録されている。

その後、地元の染色職人の工房 (「チェーラ・ウナ・ヴォルタ (昔々、の意)」) でオーナーのマウリツィオさんの指導で染色体験 (伝統的な柄を型押し)。各自、テーブルクロスなどを作製。

二グループに分かれ、工房組でないグループは市内散策。

チェルヴィアにて魚料理の昼食。

午後、ソリアーノ・アル・ルビコーネ (Sogliano al Rubicone。 www.comune.sogliano.fc.it) 訪問。市役所にて経済活動担当市議員らと懇談。次いで地元のスローフードの一つである、フォルマッジョ・ディ・フォッサ (Formaggio di Fossa。地中の甕の中で発酵させる熟成チーズ。 www.formaggiodifossa.it) の工房をオーナー、マリーノさん (www.fossebrandinelli.it) の案内で見学、試食。

農場への帰途中、農場のワインを製造している家族経営のワイナリー (Poderi dal Nespoli 社、 www.poderidalnespoli.com) 訪問。持続可能な施設見学とワイン説明、試飲。

農場に戻って夕食。農場泊。

2 月 28 日 (火) 朝食後、フォルリンプオリ (Forlimpopoli) へ。フォルリンプオリ市役所 (www.comune.forlimpopoli.fc.it) 訪問。市長、行政関係者より市および食の祭典アルトゥージ祭について説明を受ける。その後、同市出身でイタリア料理の父と言われる Pellegrino Artusi の体験型食文化博物館 Casa Artusi へ (http://www.casartusi.it/web/casa_artusi/home_casa_artusi)。地元特有のパン (ピアディーナ) 作り体験。地元の食材の試食およびワインの試飲を兼ねた昼食。前市長で現市議会議員 Paolo Zoffoli らと懇談。

午後、Sant'Andrea の乗馬施設へ。乗馬体験。

農場に戻る途中で Cusercoli の城にてアペリティーヴォ。

- 農場に戻り夕食。夕食後、ゲストのショート・トークと質疑応答。農場泊。
- 3月1日（水）朝食後、ラヴェンナ（世界遺産都市 **Ravenna**、www.comune.ra.it）へ。ガイドツアーにて市内の遺跡、モザイク画で有名な教会等を見学。市内レストランにて昼食。
- モザイク学校訪問。市内散策、ショッピング。
- サンタアポリナーレ訪問。
- 農場に戻り夕食。夕食後、ゲストのショート・トークと質疑応答。農場泊。
- 3月2日（木）朝食後、**Forli** へ。**Forli** 市役所訪問。市長および観光担当評議員、文化政策担当評議員と懇談。また、フォルリ貯蓄銀行財団にて財団関係者と懇談。市内有数のミュージアム・コンプレックスであるサンドメニコで開催中の展覧会を観覧。
- 午後、**Sant'Andrea** の乗馬施設へ。乗馬体験。
- 農場への帰途中、「ワインと味覚の道」を構成する生産者の中から、地元のワイナリー（**Cantina Sociale di Cesena**。組合組織。www.cantinacesena.it）を訪問。エノロゴによるワインに関する説明と試飲会。
- 農場に戻り夕食。夕食後、ゲストのショート・トークと質疑応答。農場泊。
- 3月3日（金）朝食後、中世来ホスピタリティのまちとして知られるベルティノーロ（**Bertinolo**）へ。市役所にて市長らと懇談。博物館見学。
- Ca' de Bè** にて昼食。
- ワイナリー（**Ca' Rosso**）訪問、試飲。
- 農場に戻り、農場内施設見学。太陽光発電・風力発電・水耕栽培施設などの説明。料理教室。
- 夕食。**Cantastorie**（地元の山岳コーラス）。農場泊。
- 3月4日（土）朝食後、**Civitella di Romagna** 市および／または **Galeata** 市訪問。両市長と懇談。**Santa Sofia** 市にてスローフードに関する講話と伝統的な染色工房 **Peromatto** 訪問。地元のアグリトゥリズムにて昼食。
- 午後、同じアグリトゥリズムにて **Ravigliolo** チーズ（スローフード指定されている地元のフレッシュ・チーズ）作り体験。
- ビール醸造所マツァペグル **Mazapégul** を訪問、見学と試飲。
- 農場に戻り、一週間のまとめ。
- 夕食。農場泊。
- 3月5日（日）朝食後、チェックアウト。
- 8:00 貸し切りバスにてミラノに移動。到着後、ホテルにチェックイン。自由行動。ミラノ市内泊。
- 3月6日（月）朝食後、午前中自由行動。指定時間までにチェックアウト。
- 専用車で空港へ。

帰国の途へ。機中泊。

3月7日（火） 東京国際空港到着。解散。お疲れさまでした！

滞在先アグリツーリズム（2月26日～3月5日）

Fattorie Faggioli

Via San Giovanni n.41 47012 Civitella di Romagna loc Cusercoli (FC)

Telefono e Fax (39) 0543 989826

e-mail: ff@fattoriefaggioli.it

www.fattoriefaggioli.it